

「Society 5.0科学博」スタート！JAXA、JAMSTEC、SkyDriveなどの展示が活況



2021年7月15日から、東京スカイツリータウンで「Society 5.0科学博」が開催中だ。内閣府と国立研究開発法人海洋研究開発機構（以下：JAMSTEC）による共同主催イベントで、JAXAの小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還カプセルの実物や、JAMSTECの有人潜水調査船「しんかい6500」の実物大模型、2020年有人試験飛行を成功したSkyDriveの「SD-03」をはじめ、展示内容は見応えたっぷりだ。



JAXA展示の様子



サンプルコンテナをオーストラリアから日本に輸送した際使用したボックス

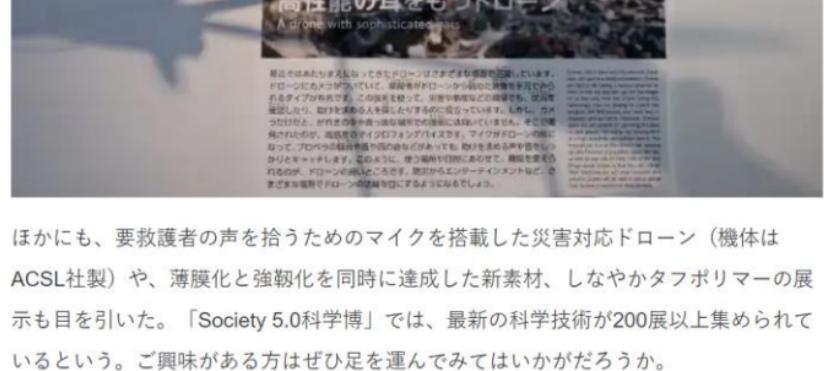


ISpaceの2022年に月面着陸予定のランダー（月着陸船）の5分の1サイズ模型



そして、4階の特設パビリオンには、SkyDrive「SD-03」のフルスケール展示機が。開催前日のプレス向け内覧会でも報道陣が殺到しており、空の移動革命に対する世の中の注目度の高さが感じられた。

展示機は1人乗りで、2020年8月に公開での有人飛行試験を成功させた「SD-03」のフルスケール。SkyDriveは現在、2人乗り機体の設計開発をしているという。目指すのは、2025年の大阪万博でのサービスインだ。また、「Society 5.0」への軌跡を示した天望回廊はサブ展示として9月5日まで、サイバー展示は7月17日から9月5日まで開催予定だ。



ほかにも、要救護者の声を拾うためのマイクを搭載した災害対応ドローン（機体はACSL社製）や、薄膜化と強靭化を同時に達成した新素材、しなやかタフポリマーの展示も目を引いた。「Society 5.0科学博」では、最新の科学技術が200展以上集められているという。ご興味がある方はぜひ足を運んでみてはいかがだろうか。